

平成22年度 大和市障害者自立支援協議会 就労部会報告

自立支援協議会 就労部会

参加者（敬称略）：ワークステーション・菜の花（成沢）、ふきのとう舎（芳賀）、
ワークセンターやまと（澁井）、(NPO) やまねっと（山岸、薄葉、工藤）
フレッシュゾーンボイス（八賀）、あゆみの家（山際）、
ホープ大和（吉野、木下）、(NPO) あるむ（堀場）
ハローワーク大和（芳賀）
大和市自立支援センター（佐藤、和賀）

1. はじめに

平成22年度の自立支援協議会就労部会では、ホープ大和と（NPO）あるむが部会構成員として加わった。昨年度より継続して就労支援ネットワークの構築を目的に、パンフレット作りに取り組んだが、企業が母体となって立ち上げたホープ大和からは企業が必要とする情報等の意見を伺う等、より営業活動に有効なパンフレットの作成を目指し、活動を行ってきた。

2. 活動内容

1) 就労支援ネットワーク パンフレット作成について

昨年度は施設及び関係機関が連携して、受注作業等の開拓や共同受注を行っていくシステムや連携方法を構築できないか検討を進め、各事業所の作業状況の情報共有を行うとともに、各施設等の受注先企業や受注内容等についての整理し、情報共有化のために資料等を作成。今年度はそれを基に、営業活動に必要なパンフレットを作成した。

パンフレットは受注先開拓、施設外就労開拓、雇用先開拓とそれぞれ目的別に作成し、1枚で誰でも使いやすいものを目指し、作られた。受注先開拓のパンフレットに関しては市内施設がどのような仕事が可能か具体的に理解してもらえるよう、行っている受注作業の内容も掲載した。今後はそれを活用し、より良いものに改定していく。

2) 受注作業に関する情報共有

(NPO)やまねっとの就労促進員が中心になり、受注作業を開拓。開拓された受注作業の情報は就労部会で報告および提供して頂き、市内の多くの事業所が新たな仕事を受注。工賃アップへの取り組みに繋がったと思われる。

3) 障がい者雇用助成制度について（ハローワークより情報提供）

法律の改正に伴い、一般企業が障がい者を雇用する際に利用できる助成制度について、ハローワーク・担当官より情報提供を頂いた。また、障がい者が一般企業に就職する際に利用できる制度（ステップアップ雇用）についても説明を頂き、障がい者雇用に関する制度への理解が深まった。

3. まとめ（就労部会として来年度の活動について）

来年度の活動については、まず、今年度に作成したパンフレットを活用し、受注作業や職場開拓を行い、それを通し、より使いやすいものに改定していく。また、事業所間の垣根を越えて、就労先や受注作業の情報、自主製品販路拡大のためアイデア等を共有できるよう、メーリングリストやホームページの活用を図る。さらに、新たな課題として、就労部会のあり方について検討を行う。自主製品販路拡大や作業受注量の増加を目指す活動と、一般企業での就労や施設外就労、実習の場の確保を目指す活動とでは、検討内容や方法が異なるため、就労部会としての方向性を整理する必要がある。そのために、各施設で就労支援に関わりのある職員が今求めている情報を集約し、大和市内の事業所が就労に関してどのような情報を求め、どのような活動を必要としているのかを確認し、周辺自治体の就労部会の活動を参考にしながら、実働の伴った就労部会の運営を考え、活動していく。